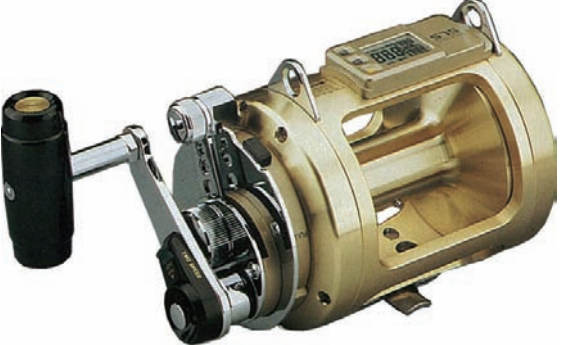


# 船リール系巻学習方法

商品コード	年式	品番	写真
RJ017000	1995 年	50W LRS	
RJ016000	1995 年	50W	

## デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

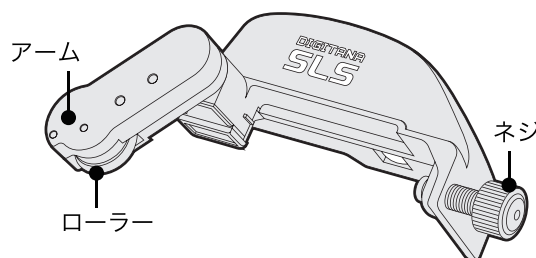
### 1 糸をセットします。

1 糸をスプールのピンに、結んでください。

2 4～5回ハンドルを正転させ、スプールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

### 2 プログラムを取り付けます。

（付属のプログラムP-5をご使用下さい。他のNO.のものは使えません。）



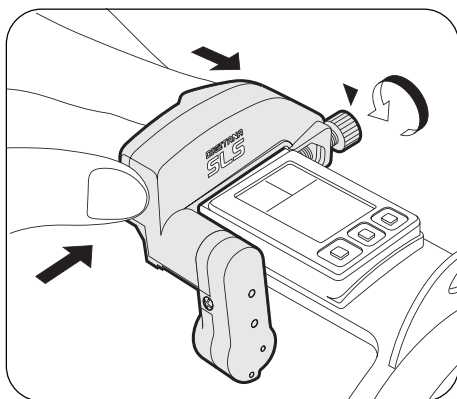
プログラムP-5の各部名称

## デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

### 3 糸巻量を記憶させます。

1 まず、プログラムのネジをゆるめます。そして、図のように、表示部の横にピッタリくっつけてセットし、ネジを締めてください。

プログラムのローラーは、はじめにセットした直後には、スプールにタッチしません。巻きはじめてしばらくすると、糸にタッチするようになります。



1 電源ONを確認してください。

液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合は、ON/Oセットボタンを押して、電源をONにしてください。

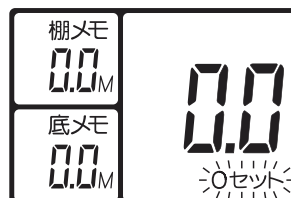
#### 電源をONする方法

ONボタンを押してください。

#### 電源をOFFする方法

3時間以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。

ご自分でOFFにされる場合は“棚メモ”と“底メモ”のボタンを同時に3秒以上押し続けてください。



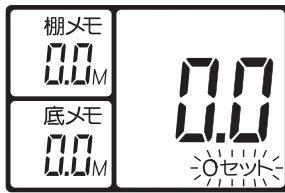
## デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

### 2 糸を巻いてください。

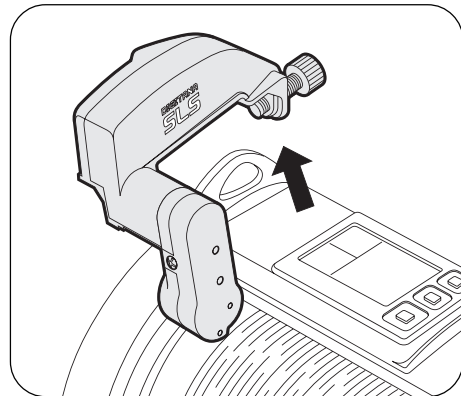
実際に釣りをするときと、同じくらいのテンションで、糸を巻いてください。

（約700g程度のテンションを目安にしてください。）  
テトロン、新素材の道糸をお使いになる場合、16号以上の糸をご使用ください。それ以下の号数になると、スプールとフレームの間に糸がかむことがあります。下巻きをして、その上に200～300m巻かれることをおすすめします。

### 3 糸を巻き始めて、ローラーが糸にあたって回転するようになると、デジタル表示が図のようになります。



### 4 糸を完全に巻き終わったらネジをゆるめて、プログラマをはずしてください。



※プログラマは糸巻学習時のみ使用します。  
実釣時には、不用です。

## デジタルカウンターの使用方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

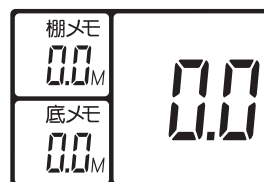
### 5 底メモ、棚メモ、ON/Oセットボタンのいずれかを、押してください。

2回断続音が鳴り、巻かれた糸の量と、「OK」の表示が出ます。（巻き取り長さが26m以下ですと、「OK」の表示が出ず学習されません。）



### 6 これで学習は完了です。

学習が終わると、カウンターが「0.0」になります。



#### 注意：

学習が終わった後、電源ONの状態ですハンドルを回してスプールを空転させますと、表示はマイナスカウントになります。糸を出してもすぐにプラスカウントしない場合は0セットを行なってください。